

# News Release

2018年12月10日  
株式会社日立製作所

## アンサルド STS 社がイタリアのブレシアーヴェローナ間を結ぶ 高速鉄道向けの信号・運行管理システムなどを約 130 億円で受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社であるアンサルド STS 社(CEO:アンディ バー)は、イタリア共和国(以下、イタリア)の CEPAV Due Consortium から、ブレシアーヴェローナ間の高速鉄道向けの信号・運行管理システムなどを約 9,800 万ユーロ(約 130 億円)で受注しました。

CEPAV Due Consortium は、ミラノーヴェローナ間高速鉄道建設を総合的に請け負っており、今回一部区間であるブレシアーヴェローナ間について、アンサルド STS 社が所属するイタリアの Saturno Consortium<sup>\*1</sup>に輸送システムを約 2 億 7,200 万ユーロ(約 350 億円)で発注しました。その中で、アンサルド STS 社は信号システム、運行管理システム、電力監視制御システム、受変電設備、火災報知設備、空調設備、トンネル内安全監視システムなどを担当します。

本契約により、アンサルド STS 社は、欧州連合が優先事項の一つとする地中海回廊<sup>\*2</sup>の建設に貢献します。

\*1 アンサルド STS 社とアルストム社、シルティ社、コラスレール社で組成したコンソーシアム。

\*2 欧州では輸送システムの統一による貨物・旅客輸送の円滑化、効率化をめざしており、地中海回廊は欧州連合が認定する「優先的に整備を進める」鉄道回廊(路線)のうちの一つ。地中海回廊はミラノーブレシアーヴェローナを結ぶ路線を含む。

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---